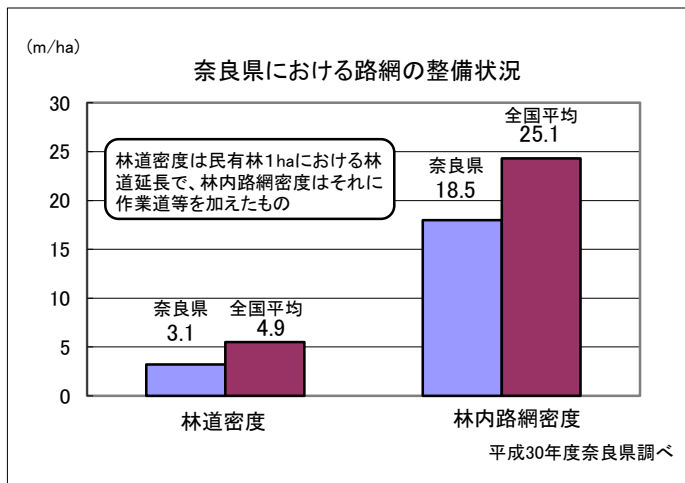


奈良県における取組

■今後の奈良県の取り組み

・スイスのフォレスターからの助言により、森林環境管理に資する持続可能な森林経営を目指す。そのためには、**①路網整備、②機械化、③人材育成等**により森林の生産性を高める必要がある。

1 路網整備の状況



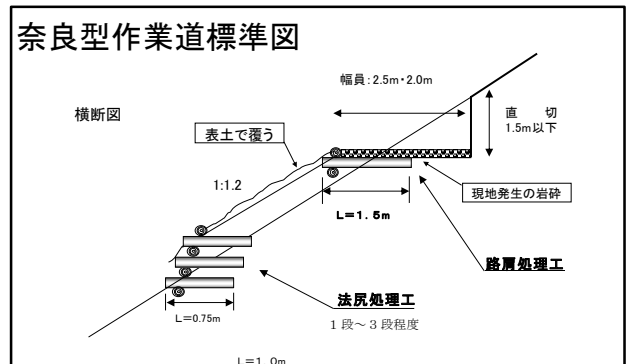
■効率的な林業経営の展開、森林の適正な維持管理、森林の総合利用の推進にとって**林道等の路網整備は必要不可欠**である。

■紀伊山地など急峻な地形が多い奈良県の**林内路網密度は、全国平均よりも低位な状況**である。

■路網の中で基幹となる林道の整備については、**市町村等への補助林道開設事業、補助林道改良事業等により進めている。また、広域的な林道については、県代行による県営林道開設事業により取り組んでいる。**

■作業道については、まとまった森林施業区域において**奈良県独自の作業道「奈良型作業道」の重点整備を進めている。**

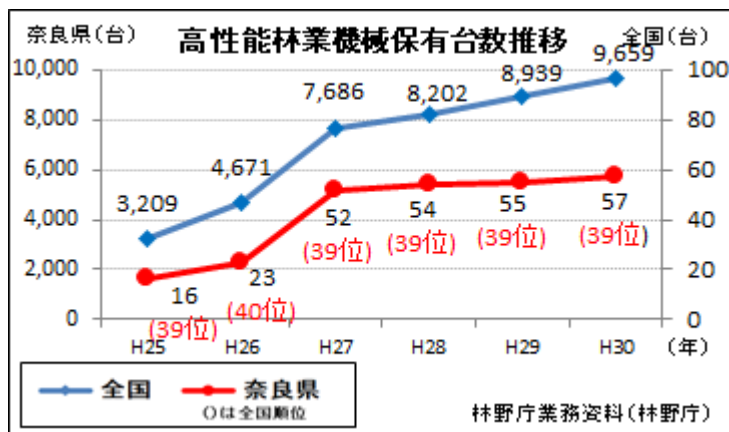
名称	補助率
奈良型作業道	国:51% 県:30~37%
作業道	国:51% 県:17%



2 林業機械の普及状況

■高性能林業機械等の導入支援を図り、木材生産の拡大と低コスト化を進めている。

県内の保有台数は増加傾向だが、全国順位は低位な状況である。（平成30年度末全国39位）



国にお願いすること

・林業を成長産業化するため、林業の生産基盤である林道や作業道などの路網の整備、高性能林業機械の導入などが急務である。

・このため、路網の整備及び高性能林業機械の導入に係る事業の国費財源について、十分かつ安定的に確保することを要望する。



林道を活用したトラックによる木材の搬出



グラブpler付きトラックによる木材の積込



高性能林業機械による造材

国費財源

- ・農山漁村地域整備交付金
- ・地方創生道整備推進交付金
- ・森林環境保全直接支援事業
- ・美しい森林づくり基盤整備交付金
- ・林業・木材産業成長産業化促進対策交付金